

河原哲郎著 勝山の散歩道

このほど勝山市文化財保護委員長河原哲郎氏が、『勝山の散歩道』を刊行した。河原氏は、勝山市史編集長として、勝山市史の編さん事業に優れた業績をあげている。本書は、特に勝山市内のさまざまな歴史的景観の分野に視点をすえ、一般読者層にも容易にかつ楽しく理解できるよう特段の配慮によって編集したきわめてユニークな著作だといえる。

内容は(一)平泉寺をたずねる、(二)平泉寺の石仏、(三)一向一揆のあと、(四)城下町勝山、(五)小笠原氏の歴史、(六)古里の道、(七)名所あちこち、に区分し、それぞれ著者の歴史研究者としての実証的な視角に立ちながら、とりわけ軽妙な筆致で、いわゆる「歴史散歩」の観点とその具体内容を明らかにする。たとえば(一)平泉寺をたずねる、では、1 菩提林、2 精進坂、3 泰澄墓、4 御手洗池、5 苔・礎石・石垣、6 現在の建物、7 禅定道、8 玄成院庭園、9 顕海寺・平泉寺と細分するが、特に平泉寺境内見取図をかかけ、見学のさいの順序を十分考慮した内容構成を試みている。

しかも写真は、同市文化財保護委員丸屋仁志氏が担当し、貴重な写真が数多く収録されるのも本書の特色である。現地の歴史的景観を対象とするきわめて精彩を放つ必読の書として、お勧めする。

(同)

(七十一ページ、領価七五〇円、玉木印刷所刊)